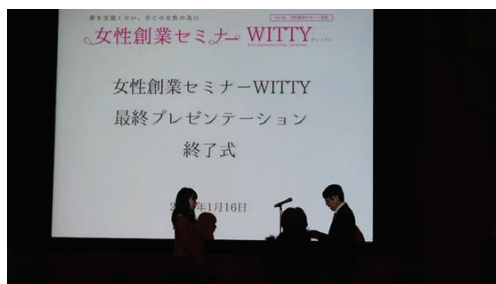


# 山口県の SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE YAMAGUCHI PREFECTURE 中小企業

2 2015  
Feb  
Vol.682



表紙写真説明  
女性創業セミナーWITTY  
卒業プレゼン・修了式  
(ライフスタイル協同組合)

## 特集 平成26年度補正予算案 平成27年度予算案 中小企業・小規模事業者関係予算案の概要

- 「いま、これを伝えたい!」  
協同組合下関造園クラブ
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」  
不二産業株式会社
- 組合等ニュース
- 景況動向
- 女性創業セミナーWITTYを運営!  
ライフスタイル協同組合
- 平成26年度決算・税務講習会のご案内

—いま、これを伝えたい！—

## 下関市の緑の技術者集団!!

### 協同組合下関造園クラブ

#### 【造園技術の進歩への対応のため組合を設立】

当組合は、任意団体「下関造園クラブ」として発足し、20年の永きにわたり様々な造園業に係わる活動を続けてきましたが、造園関係の技術・工法の進歩、地球温暖化等の環境における社会の変化に対応できる組織体になるべく、平成13年6月に22社で協同組合を設立しました。

#### 【共同受注事業に積極的に取り組む】

当組合の主たる事業として、「下関市緑化祭」を下関市と共催し、緑化への啓発活動を行っています。市民に広く造園技術をPRし、緑の



世界園芸博覧会で優秀賞を受賞(下関市展示園)



トルコ共和国イスタンブール市の日本庭園建設に協力

つ癒しや潤いを実感してもらおうことを目的に毎年行なっています。会場が訪れ、緑を楽しんでもらっています。剪定枝を大型の破砕機で粉碎、チップ化し、各所公園の園路、樹木の下に敷き詰めて防草の役割を持たせる等のリサイクル事業へも積極的な協力を行っています。

また、下関市は三方を海に囲まれていること、緑化の場所がほぼ海岸沿いになることから、平成14年度の中央会補助金の活用を契機に調査・研究事業として、臨海部の植栽技術の研究及び活動を継続的に、現在人



工島の埋立地で実際に防風林に使う樹木を育成しています。

その他の活動として、下関市と姉妹結都市であるトルコ共和国イスタンブール市から下関市に日本庭園建設の協力要請があり、市の要請を受けて現地調査を行い、その建設、整備に協力するとともに、その後の庭園の手入れ等の技術支援を継続しています。またイスタンブール市から下関市に寄贈されたチューリップを利用した火の山公園トルコチューリップ園の整備に協力し、毎年春には市民のみならず観光客の憩いの場となっております。造園分野における海外との専門的交流に貢献したとのこと、昨年、日本公園緑地協会から佐藤国際交流賞を受賞しました。また姉妹都市である中国青島市で開催された世界園芸博覧会に下関市が出展した展示園施工に技術者を派遣しました。下関市展示園は優秀賞を受賞し、当組合は青島市より感謝

状を授与されました。このほかに、市内の小学校2校の校庭の一部を芝生化するなど、様々な活動を行っています。

#### 【自己研鑽にたゆまぬ努力を続ける】

当組合は、常に造園技術の資質向上を目指して、教育情報提供事業にも積極的に取り組んでいます。草刈り機、チェーンソー等の講習会をはじめ、造園技能士の資格取得に向けた講習会を行うなど、後継者の育成にも積極的に取り組んでいます。

任意団体からの活動を加えると今年で35周年を迎えます。「緑は人の心に安らぎ・優しさ・豊かさをもたらす」を念頭に、緑を造り、育てることを通じて、豊かな景観・環境を創り、守ることを社会的使命とし、安心・安全な地域づくり、都市環境づくりの一翼を担って活動を続けています。

### 協同組合下関造園クラブ

#### 【組合概要】

- 理事長：森 和義
- 組合員数：22名
- 組合住所：下関市亀浜町1802-1
- ☎ 083-250-5231 FAX 083-250-5232

#### 【組合の主な活動】

造園工事業

# 平成26年度補正予算案 平成27年度予算案 中小企業・小規模事業者関係予算案の概要

## ものづくり・商業・サービス革新を支援します

### ものづくり・商業・サービス革新補助金

26年度補正…1,020億円  
○新しい商品・サービスの開発や業務プロセスの改善、新しい販売方法の導入など、中小企業・小規模事業者が事業革新に取り組む費用の2/3を補助します。今回は、共同で行う設備投資なども支援対象に追加します。

補助対象…①新しいサービス、新商品・試作品の開発 ②複数者が共同で取り組む設備投資等  
補助上限額…①1,000万円 ②共同で5,000万円(500万円/社)  
※設備投資をせずにサービス開発をすることもできます(上限700万円)

### 革新的なものづくり産業創出連携促進事業(サポイン事業)

27年度…129億円  
○中小企業・小規模事業者が、大学・公的研究機関等と連携して行うものづくり技術を活用した研究開発などの費用の2/3を補助します。補助上限額…4,500万円  
※特定ものづくり基盤技術に、「デザイン開発技術」を追加します。

ものづくり技術を活用した研究開発などの費用の2/3を補助します。補助上限額…4,500万円  
※特定ものづくり基盤技術に、「デザイン開発技術」を追加します。

### 商業・サービス競争力強化連携支援事業

27年度…10億円  
○中小企業・小規模事業者が、他の事業者及び大学・公的研究機関等と連携して行う革新的なサービス開発の費用の2/3を補助します。補助上限額…3,000万円

### 省エネ設備の導入を支援します

#### 地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金

26年度補正…930億円  
①最新モデルの省エネ機器・設備を対象に、費用の1/2を補助します。その際、導入前後のエネルギー使用量の提出を省くなど申請手続きを簡素化します。

②このほか、工場・オフィス・店舗等の省エネに資する設備の更新・改修についても費用の1/2を補助します。(エネルギー管理支援サービスを活用した場合は2/3)

### がんばる商店街を支援します

#### 地域商業自立促進事業

27年度…23億円  
○商店街が取り組む、地元産品を販売するアンテナショップの設置やオリジナル商品の開発、子育て・高齢者支援サービスの提供、空き店舗への店舗誘致、まちなか交流スペースの設置など、商店街の魅力を向上し、中長期的な発展に貢献する取組について、費用の2/3を補助します。補助上限額…5億円

### 人材の確保・育成を支援します

#### 中小企業・小規模事業者人材対策事業

26年度補正…60億円  
27年度…10億円  
①地域内外の若者・女性・シニア等の多様な人材から、地域の中小企業・小規模事業者が必要とする人材を発掘し、紹介・定着までを一貫支援します。

②「地域人材育成コンソーシアム」を組成し、地域の複数の中小企業・小規模事業者による出向や共同研修等を通じて、地域の企業における人材育成を支援します。

る人材育成を支援します。  
③カイゼン活動指導者の育成・派遣、製造現場の中核人材への講習等を通じて、中小企業・小規模事業者の生産性向上に資する人材育成を支援します。

### 小規模事業者を応援します

#### 小規模事業者の持続化支援

26年度補正…252億円  
①小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって販路開拓に取り組む費用(チラシ作成費用や商談会参加のための運賃など)の2/3を補助します(持続化補助金)。また、①複数の事業者が共同で行う取組や、②雇用対策・買い物弱者対策への取組を行う事業者に対しては重点的に支援(補助上限のアップ)します。

補助上限額…50万円(①500万円、②100万円)

②既存の商圏を超えた広域に販路を拡大しようとする小規模事業者を対象に、物産展や商談会の開催、国内外のアンテナショップやインターネットによる販売支援などを行います。

### 小規模事業者経営改善資金融資事業(マル経融資)

27年度…③④で40億円  
③商工会・商工会議所・都道府県商工会連合会の経営指導員の経営指

導を受けている小規模事業者に対し、日本政策金融公庫（国民生活事業）が無担保・無保証人・低利で融資を行います。貸付上限額…2,000万円

■小規模事業者経営発達支援融資事業

④経営発達支援計画の認定を受けた商工会・商工会議所から、売上の増加や収益の改善、持続的な経営のためのビジネスプラン策定の助言とフォローアップを受ける小規模事業者に対し、日本政策金融公庫（国民生活事業）が、取組に必要な資金を貸し付けます。貸付上限額…7,200万円

創業をめざす方を応援します

■創業・第二創業促進補助金

26年度補正…50億円  
27年度…8億円  
①創業費用の2/3を補助します。補助上限額…200万円

②事業承継を契機として既存事業を廃業し、業態転換する際にかかる費用（廃業コストを含む）の2/3を補助します。補助上限額…1,000万円

③産業競争力強化法に基づき、市区町村と連携する創業支援事業者※による、経営相談や交流会の開催などの取組を支援します。補助上限額…1,000万円、補助率…

2/3

■地域創業促進支援事業

27年度…4億円  
④全国で「創業スクール」を開催し、創業予備軍の掘り起こしをはじめ、創業希望者の基本的知識の習得からビジネスプランの策定まで支援します。

地域資源の活用を応援します

■ふるさと名物応援事業

26年度補正…40億円  
27年度…16億円  
①中小企業・小規模事業者が、異分野の事業者と共同で行う商品・サービスの開発などにかかる費用の2/3を補助します。補助上限額…1,000万円

②中小企業・小規模事業者が、地域資源活用や農工商連携により行う商品・サービスの開発などにかかる費用の2/3を補助します。補助上限額…500万円

③小売事業者等が、製造事業者と連携して「ふるさと名物」などの販路開拓に取り組む際にかかる費用を補助します。補助上限額…1,000万円※大企業への補助率は1/2、中小企業等への補助率は2/3

④複数の中小企業・小規模事業者が、「ふるさと名物」などを地域ブランド化するための取組を行う場

合、その費用の2/3を補助します。補助上限額…2,000万円

⑤地域資源を海外展開させるため、国内外の専門家などを活用して行う、ものづくり、食、観光等の地域資源の発掘や、海外向け商品の開発などの取組を支援します。

販路開拓を応援します

■中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業

27年度…25億円  
①本格的な海外展開に向けた戦略策定や販路開拓につなげるため、事業化の可能性調査の支援に加え、HPの外国語化、物流体制の構築等をパッケージ化して支援します。補助上限額…160万円、補助率…2/3

■JAPANブランド育成支援事業

27年度…16億円の内数  
②自らの強みを分析し、明確なブランドコンセプト等と海外展開の基本戦略を固めるため、専門家の招へい、市場調査などの取組を支援します。補助上限額…200万円、補助率…定額

③具体的なブランド確立や海外販路開拓を図るため、新商品開発、海外展示会出展などを行うプロジェクトを支援します。海外販路開拓を継続的に支援するため、最大で3年間の支援を行います。補助上限額…2,000万円、補助率…

2/3

④海外現地のニーズ等に詳しい外部人材の活用による、日本の生活文化の特色を活かした魅力ある商材の海外需要獲得に向けた市場調査、商材改良、PR・流通まで一貫したプロデュース活動を支援します。補助率…定額

下請事業者の自立化を応援します

■下請中小企業・小規模事業者自立化支援事業

27年度…5億円  
①下請事業者同士が共同で行う勉強会や、展示会出展、設備導入などにかかる費用の2/3を補助します。補助上限額…2,000万円

②親事業者の生産拠点の閉鎖・縮小などにより売上げが減少する下請事業者が、新分野進出のために行う試作開発、展示会出展などの費用の2/3を補助します。補助上限額…500万円

事業承継の円滑化に取り組めます

■中小企業新陳代謝円滑化普及等事業

26年度補正…24億円  
○平成27年1月の相続税引上げ、事業承継税制拡充の施行、小規模企業共済制度の見直しなどにあわせて、事業承継・廃業などに関する施策・制度の講習会・説明会の開

催や、個別相談員の派遣などを行います。

■事業引継ぎ支援事業

取引の適正化に取り組みます

■原材料・エネルギーコスト増を踏まえた取引の適正化

■消費税転嫁対策

26年度補正…37億円

27年度…39億円

③消費税の円滑な転嫁に向け、中小企業団体などと連携して、相談窓口の設置や専門家派遣などを通じた、きめ細かなサポートを行います。

④消費税分の価格への上乗せを拒否するなどの違反行為を取り締まるため、全事業者への書面調査を実施するとともに、消費税転嫁GMEXが積極的に情報収集や検査などを行います。

資金繰り・事業再生を支援します

■中小企業・小規模事業者への資金繰り支援

26年度補正…1,380億円財務省

計上709億円含む

①日本政策金融公庫や商工中金が、原材料・エネルギーコスト高などの影響を受ける中、資金繰りに困難を来す中小企業・小規模事業者や省エネ投資を促進する事業

者、また、女性等による創業や円滑な事業承継など地域における前

向きな取組を行う事業者、さらにNPO等の新たな事業・雇用の担い手に対する融資を行います。

②信用保証協会が、地域金融機関と連携して経営支援を実施し、また、経営力強化保証等による借換保証を推進することにより、経営支援と一体となった資金繰り支援を行います。また、災害対応を支える信用保証の迅速化・柔軟化を図ります。

■中小企業・小規模事業者への事業再生支援

税制で事業活動を後押しします

■中小企業等に係る法人税の軽減税率の延長

■商業・サービス業・農林水産業活性化税制の延長

事業承継税制を拡充します

■事業継承税制の拡充

地域経済の活性化を応援します

■外国人旅行者向けの消費税の免税販売手続を一括することができる制度の創設

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」その14

『産業用繊維製品の接合技術の品質向上と作業効率アップのための設備更新とその改善』

不二産業株式会社



代表取締役  
武居 耕一氏

今回「ものづくり補助金」を活用し品質UP、生産効率UP、新人の訓練期間の短縮のため、まったく新しいミシンを「JUKIミシン」と共同開発することができました。今では現場になくてはならない設備となり、大きな成果をもたらしました。今期もこの開発したミシンの購入を予定しております。また、女性にとって働きやすい環境がまた一つ整い、従業員も6名増え、初の40人台となったことも独自技術の活かせる設備があつての企業成長と思い、感謝をしております。

(技術分野) 繊維加工  
(類型) 試作開発＋設備投資  
(形態) ニッチ分野特化  
(会社概要) 当社は、各種工場の製造プラントや環境維持のための装置において、液体や気体のろ過に使用される「ろ過布製品」、「テント倉庫」「各種テント」「フレキシブルコンテナ」等の産業用繊維製品を製造販売しています。設計から製造、現場据付まで一貫して行うことができる業界では数少ない会社であり、県内の大手企業の工場を中心に全国300社以上に納入し、その市場占有率約30%の国内トップクラスの産業用繊維加工会社です。

(事業概要) ニッチ分野である産業用繊維製品の製造分野において、専用加工機が無いために品質・製造効率とともに問題のあつた「接合加工」部門において、この作業を改善するために、いままで培った製造ノウハウを結集し、オリジナル仕様の接合機械を開発し、導入・改良することで、製品品質と製造効率の向上を図り、経営を向上させることを目的に「ものづくり補助金」に取り組みました。



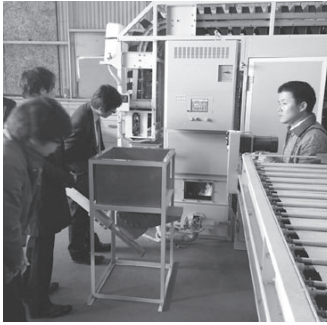
不二産業株式会社

〒744-0061  
下松市葉山2丁目904番地19  
TEL：0833-47-0007 FAX：0833-46-3666

## 中央会指導員研究会がものづくり企業「(株)木原製作所」を視察!

山口県中小企業団体中央会 中国ブロックの中央会指導員による研究会の一環として、中央会振興会会員の(株)木原製作所(木原康博社長)へ視察研修を行いました。

はじめに、当社が葉たばこ乾燥機メーカーから食品乾燥機メーカーへと移行した経緯や現在取り組んでいる開発案件等が紹介され、その後工場見学を行いました。工場では、平成24年ものづくり補助金を活用した自動薪供給装置付き乾燥機の試作機を実際に稼働し、椎茸生産者が薪を燃料として使用することでCO<sub>2</sub>発生量を99%削減させることができることや間伐材の有効活用を通じて山林保全と環境負荷の低減に貢献できる技術であることが紹介され、見学者一同はその能力に感心しました。



ものづくり補助金を活用した試作機

## 「ミルクキッチン燦・燦」がオープン!

企業組合燦・燦 (池田静枝理事長)



企業組合燦・燦の皆様

昨年12月5日(金)、防府市沖今宿の池田牧場内に農家レストラン「ミルクキッチン燦・燦」がオープンしました。防府地域では大人気の鍋1グランプリで3連覇した「ミルク鍋」などで認知も高く、イベントなどで大好評を得ていた女性グループが昨年8月に当組合を設立し、開店準備を進めてきました。牧場ならではの牛乳と手作りのカッテージチーズをふんだんに使った「ミルク鍋」を中心に提供していき、牛乳の魅力や活用法を知ってもらい、需要拡大につなげたいと考えています。営業は金・土・日曜の11時〜15時です。問い合わせは当組合(電話0835-211-3004)へ。

## 経営上のリスクを把握! 事業承継について考える

山口県自動車整備商工組合 (末富喜昭理事長)

当組合は12月11日(木)、牛見和博弁護士を招いて事業承継対策・消費税転嫁対策セミナーを開催しました。事業承継とはヒト・モノ・カネ・知的資産を引き継ぐことであり、事業承継は必ず発生します。円滑な承継ができないときは経営への影響は計り知れません。事業承継する相手として親族・従業員・第三者等が考えられますが、それぞれメリット・デメリットを把握しておく必要があります。中小企業の事業承継を円滑にするための制度として、条件を満たせば、相続税・贈与税納税が一定程度猶予されること等が紹介されました。将来を見据えた計画と早めの対策について解説され、受講者は熱心に聞き入っていました。



程度猶予されること等が紹介されました。将来を見据えた計画と早めの対策について解説され、受講者は熱心に聞き入っていました。

## 研修会「失敗しないための求人・面接のやり方」を開催!

山口県中小企業団体中央会



中央会は、「失敗しないための求人・面接のやり方」優秀な社員を確保するための採用ノウハウ」と題して、後継者養成・経営力向上研修会を開催しました。講師の特定社会保険労務士 小玉隆一氏からは、「人材採用が困難な中で、中小企業においては『選別するのではなく、選別されている』という意識を持ち、①求める人物像を明確に設定し、②面接者の教育を行い、③土台となる職場環境を整備し、④その上で採用戦略を練る必要がある。自社ホームページで社員の顔や声、事業の将来性等を掲載すると効果的」といったポイントが紹介されました。

# 月次景況調査結果

平成26年12月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合  
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

## 業種別の景況

12月は、受注や売上が、食料品、小売業、商店街及び運輸業では増加と減少が混在した。繊維工業、一般機器、輸送機器、建設業から受注や売上が増加したとある一方で、卸売業、木材・木製品、印刷、サービス業からは減少した、報告である。また、運輸業の一部ではあるが、原油価格の下落が利益確保への追い風となっている。

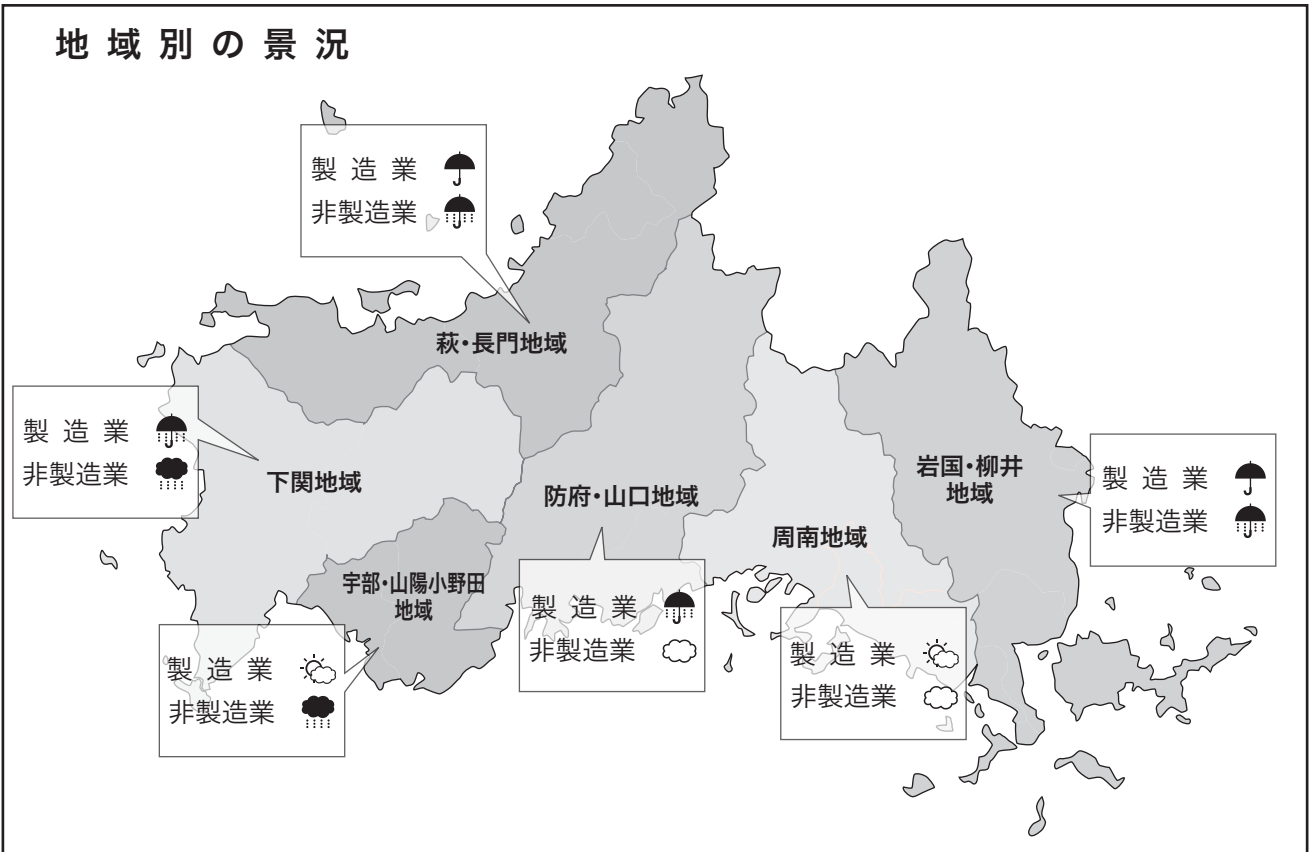
景気は「一部に弱さがみられるが、全体としては緩やかに回復している」とされているが、同一業種でも景気感に差があり、まだら模様の景気動向に変化はなく、先行き不透明感も残っており、今後の経済対策等に期待したい。

	業 種	12月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	↗
	織 維 工 業	☂	→
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	↘
	一 般 機 器	☁	↗
	輸 送 機 器	☁	↘
非 製 造 業	卸 売 業	☂	↘
	小 売 業	☂	↗
	商 店 街	☂	↗
	サ ー ビ ス 業	☂	→
	建 設 業	☁	↘
	運 輸 業	☁	↘

### DI値

30以上	☀	-30以上-10未満	☂
10以上30未満	☁	-50以上-30未満	☂
-10以上10未満	☁	-50未満	☂

## 地域別の景況



情報連絡員報告

平成26年12月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原材料の値上げ分の価格転嫁が出来ない状況が続いており、消費税10%の延期を喜んでいる組合員が大半である。クリスマスケーキはバターの代用品で製造したり、値上げを行った店舗が多い。(パン・菓子製造業)</li> <li>○ 前半は荒天等もあったが、対前年同月比+7.5%。4～12月累計では+13.7%と好調を維持し、開業14年目で最高売上、最高利益。(水産食料品製造業)</li> </ul>
	繊維工業	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取引先の新商品切換えで一時的に受注増であるが、店頭の流れ行き状況は良くないため、依然として先が読めない。(下着類製造業)</li> <li>○ 円安の為かメーカーが国内生産を求めている現状と、以前より製造工場が減少しているため、小ロットながらも方々から引き合いがあり、そこそこ忙しい。 (外衣・シャツ製造業)</li> </ul>
	木材・木製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新設住宅着工数は、消費税増税の反動が続き回復の兆しはない。スギ中丸太価格も高止まりで推移。(製材業・木製品製造業)</li> </ul>
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 円安により原材料等の経費が増加。原油価格の下落で円安の影響がカバーされているが安穏とすることはできない。(印刷)</li> </ul>
	窯業・土石製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年同月比で再生路盤材の出荷数量は上がっているが、骨材、路盤材は、出荷数量もかなり減っている為、在庫が山積みになっている。(碎石製造業)</li> </ul>
	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原油価格の上下変動に製品の取引価格をどうするか事業者は悩んでいる。</li> <li>○ インドネシア等から、少しずつ受注が取れ始めている。(一般機械器具製造業)</li> <li>○ 設備操業度は11月と同等。1～4月の仕事量は確保しつつあるが価格・納期の顧客からの厳しい要望、円安の進展が不安要素。(特殊産業用機械製造業)</li> </ul>
	輸送機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉄道車両、精密機械加工部門とも持ち直してきている。特に精密加工部門は春先まで多忙の作業量が見込まれている。車両部門は年明けに少し落ち込みがみられるが、大きな変動はない見通しである。(鉄道車両・同部品製造業)</li> </ul>
非 製 造 業	卸売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 景気の悪化により益々消費が低迷している。新海苔の入札が開始されたが、温暖化の影響が良質の新海苔が品薄で、競争が激しく価格が高騰し欲しい海苔が入札出来ないでいる。(各種商品卸売業)</li> <li>○ 時化で魚の入荷が少ないうえに年末価格で相場が高騰。例年より客足が悪く選挙や消費税増税の影響もあり購買意欲が下がっている。(生鮮・魚介卸売業)</li> </ul>
	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ツリー祭りも徳山港付近に拡大開催された。しかし商店街方面への来街者は減少した模様。(各種商品小売業 周南市)</li> <li>○ 前年よりも休日が一泊少ないにもかかわらず売上は若干増加。寒さが功を奏したと思われる。(各種商品小売業 山口市)</li> </ul>
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 恒例イベントが始まり少し売上・客数は増加している。駐車台数は前年対比で減少している。公務員のボーナス支給時には、客数が少し増。(山口市)</li> <li>○ 年末の売上が例年よりも悪く収益が悪化のため、人員整理の店も出た。(萩市)</li> </ul>
	サービス業	☔	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年末商戦とは言い難い状況。2割増し程度の忙しさで、店内販売商品等の流れ行きがよくない。余分な買い物は差し控えているのだろう。(美容業)</li> <li>○ 宴会は前年とおりに集客できたが、下関地区の宿泊者は少なかった模様。部屋数は少ないが“ふく”が提供できる旅館は高額であっても好調であったとのことで、客の財布の紐が少し緩んできたように思う。(旅館業)</li> </ul>
	建設業	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この一年技能者不足の中で状況は好転したが、今は横這いの状態。工期遅延の恐れのある現場が発生している。(左官業)</li> <li>○ 年末になり少し忙しくなっている。品質管理も安全管理も財政的に余裕がないと取り組めず、急に忙しくなると労働災害等が心配である。(土木工事業)</li> </ul>
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物流に関しては、年末に向けて繁忙期を迎えている。特に年末商戦やお歳暮等の需要により食品輸送関係が伸びてきている。また原油価格の下落による軽油の値下がりも利益確保への追い風となっている。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>○ 長く続いた売上減少が9月、10月に増加に転じたが再び減少傾向となり、11月分はもちろんのこと12月分も減少している。(一般旅客自動車運送業)</li> </ul>



# 女性創業セミナー WITTY を運営!

ライフスタイル協同組合 (船崎美智子理事長)

当組合は、山口県女性創業サポート事業として(公財)やまぐち産業振興財団の委託を受け「女性創業セミナーWITTY」を昨年9月より企画運営してきました。

本セミナーは、家庭や子育てを両立しながら起業したい、ライフステージの変化で今の事業を見直したい、経営をきちんと学びたいといった、起業家としてのステージアップを目指す女性の為のセミナーです。講義は全15回で、事業計画書の書き方やプレゼンテーションの方法といった経営能力向上講座のほか、ファッションや話し方等のコミュニケーション力向上講座が用意され、約4ヶ月間にわたって開催されました。すべての講師が女性、中国創業支援センターによる指導を受けられる、参加できない回はeラーニングで補講ができる、無料託児付きといった点が特徴です。

毎回の講座にワークショップを取り入れ、定期的にランチ交流会を開催するなど、女性のコミュニケーション力の高さをいかしてビジネスアイデアをブラッシュアップしました。



女性起業家のひとりである  
ライフスタイル(協)の船崎理事長

最終回の1月16日(金)に修了式及び卒業プレゼンが行われ、県や支援機関、金融機関等を対象に、選抜された16名が卒業プレゼンを行いました。

受講者からは「WITTYをきっかけに夢が広がり、人脈もできた」「企業組合として起業したい」と好評を得ました。船崎理事長は「受講中に起業し、カフェを開店した人もおり、受講生同士でのコラボも生まれている。また、運営を通じて組合として私達も成長できた。今後も受講生の起業や更なる飛躍に向けて出来る限りサポートしていきたい」と述べられました。



講義風景



グループワークでの意見交換

## 平成26年度決算・税務講習会のご案内

- 日時 平成27年2月25日(水) 10:30~16:30 \*午後からの参加も可能です。
- 場所 山口市小郡ふれあいセンター2F 集会室 (山口市小郡下郷1440-1 ☎083-973-0003 \*駐車場有)
- 講師 富田税理士事務所 所長 富田哲也 氏
- 日程及び内容

### 《第1部 中小企業会計啓発・普及セミナー》

10:30~12:30 【会計編】『企業の継続的成長を目指す会計 応用編』

「中小企業の会計」に則った事業計画・予算策定・資金計画(キャッシュフロー計算書)等の作成を学びます。

12:30~13:30 昼食・休憩

### 《第2部 決算・税務講習会》

13:30~14:50 【決算・税務編】決算及び組合関係税制について

決算整理から決算関係書類の作成方法や組合特有の経理処理、27年度組合関係税制の改正、組合特別税制(①利用分量配当の損金算入、②賦課金の仮受金経理、③留保所得の特別控除)等について学びます。

15:00~16:30 【税務申告編】申告書の基本的な作成について

組合税務申告書の基本的な作成手順(法人税等の申告書記載と税額の計算)等について学びます。

- 対象者 組合役職員や組合経理担当者等(定員60名)
- 資料代 1人1,000円(当日、受付で申し受けます。) 資料名「中小企業組合関係税制のあらまし」
- 持参物 電卓、筆記用具、昼食をご持参ください。

※お申込み・お問い合わせ 連携支援第一課(担当:洗川) ☎083-922-2606

今月の

# さわやかレター

2014  
Feb



企業組合志舞

倉重 智子さん(左) 古川彩加さん(右)

新山口駅前（山口グランドホテル裏側・コンビニ店舗跡）に生産者直営店舗としてオープンした「結び家くらとも」で、お弁当やおにぎりの製造・接客を担当されている倉重さんと古川さん。

美祢市秋吉台でエコやまぐち100等を取得した株式会社倉友が生産する玄米を、直接消費者に提供して美味しさを実感してもらうために店舗をオープンされました。「化学農薬・化学肥料に頼らない昔ながらのお米の美味しさを知っていただきたい、色々な人が集まれる場所にしたい」という想いを持っていらっしゃいます。

組合のPRをお願いしたところ、「お米以外も、化学調味料は不使用、自家菜園の野菜を使用した惣菜など、こだわっています。ぜひ食べに来てください。」と笑顔で答えていただきました。

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社